たまきかわまちづくり(仮称)について

=対象箇所の現状と目指す姿=

令和4年9月28日

たまきっく辺の楽校の整備コンセプト

●自然体験・環境学習の場の創出

自然体験・環境学習の場として 利活用できるように、広さを確保 した高水敷・せせらぎ水路・散策 路等の整備が実施されている。

②宮川への関心を持てる場

当該地区内に残る、治水歴史資産 である「百間パネ」を多くの人に 知っていただく場とする。また、 地域と連携した学習活動や維持 管理を通して、連帯意識・関心が 高まることを想定している。

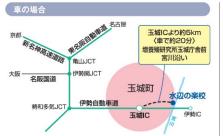
③玉城町・周辺施設との連携

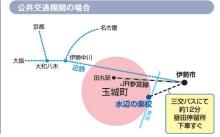
高水敷広場を活用した多目的な利活用(各種イベント、BBQ、フリーマーケット、防災訓練等)を想定している。環境学習とあわせ、周辺施設や玉城町の歴史・文化についても知ってもらえる場とする。





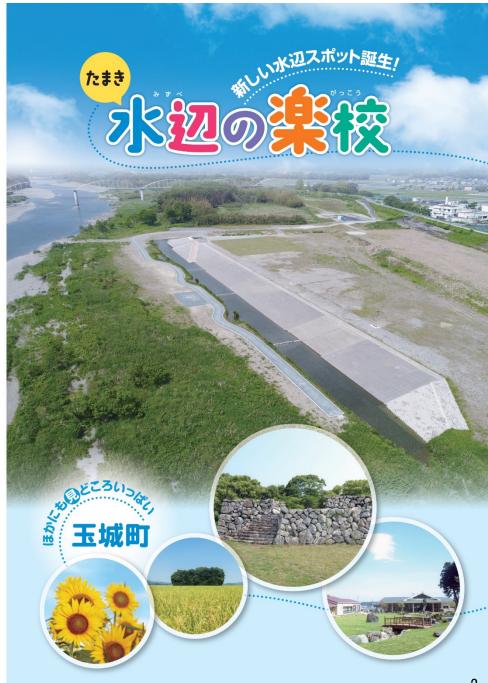
●たまき水辺の楽校へのアクセス





このパンフレットについては…

玉城町建設課 [〒519-0495 三重県度会郡玉城町田丸114-2 Tel.0596-58-8205]



医城町おすすめスポット

玉城町の新たな魅力スポット「水辺の楽校」。

でも玉城町には、ほかにも行きたいところ、知りたいところがいっぱいあります。

現地へ足を運び、玉城らしさを知り、感じ、楽しみましょう。

水辺の楽校@

玉城町の新しいお楽しみスポット。子どもたちが安全 に水遊びを楽しみながら、水や自然や生き物について学ぶことができます。 河川敷でのスポーツやバーベキューの利用も考えられています。



宮川の強い水の流れをはね除けるための石積みの堤「百間バネ」は宮川の洪水から 尊い命を守るという願いを込めて明治の時代に築かれました。地域の防災の知恵が 水辺の楽校の西端に残っています。



アスピア玉城

緑に囲まれた自然いっぱいのアスピア 玉城。メイン施設「玉城ふれあいの館」「ふるさと味工房アグリ」 のほかに、マウンテンバイクコース、子供広場などがあります。

玉城ふれあいの館 (玉城弘法温泉)

ふれあいの館には玉城弘法温泉 があります。緑に囲まれた静かな 環境と、おだやかな泉質でリラッ クスさせてくれます。地元の人々 に人気の温泉です。



ふるさと味工房アグリ

作り手の顔が見える安心で新鮮 な農作物がたっぷり。「玉城豚」 の精肉や加工品、手づくりパンな どもあります。またパンやソー セージづくり体験教室、農業体験 教室、バーベキューなども楽しめ



村山龍平記念館

村山龍平は、紀州藩田丸領に仕えた 旧士族。明治維新後、大阪に移住し、 朝日新聞を創刊しました。その後、朝 日新聞を一流の新聞に育てるととも に社会事業や文化事業にも力を尽く しました。記念館は、その偉業や遺品 を数多く紹介。郷土資料館として玉 城町の歴史も紹介しています。





田丸神社

学問の神様とされる菅原道真をはじ め20柱の神様をまつる神社です。 古くはご神木に雨などを祈願する農 耕神だったといわれています。現在 は学業成就や厄除けなどで多くの 参拝客が訪れます。



玉城ふれあい農園

約30棟のいちごハウスが広がる 観光農園。低農薬栽培にこだわっ た栽培で知られています。いちご 狩りの人気スポットです。



的山公園 周辺のまち並みを一望

できる山頂公園です。 標高269mの小高い山 で、初心者でも気軽に 歩けるハイキングコー スもあります。公園まで の遊歩道は、季節ごと の彩りを見せ、美しい自 然を感じながら歩くこと ができます。





山頂からの眺望▶

野面積みと呼ばれる石垣を残す田丸城。 南北朝時代に北畠親房が、南朝の拠点と して築いたのが始まりで、700年近い歴 史を経ています。戦国時代には織田信長 の次男、信雄が天守を築いて居城としま



女甲舎

江戸時代の田丸城主の家老で、優れ た茶人でもあった釜森得水の別邸。 茶室と客室を兼ねた建物と、家族が 生活する居宅で構成された数寄屋造 が特徴です。京都から一流の職人を 呼び復元させた町指定の文化財。



あえるかも

せせらぎ水路の付近では

ヤゴの仲間やメダカや野

鳥など、いろいろな生き

物が生息しています。

皇大神宮摂社にあたる朽羅神社は田 や野原の農耕の神様を祀る神社で、 田んぽの中にたたずむ大きな森の中 にあります。米の収穫期には黄金色 の稲穂と森のコントラストが美しい 姿を見せます。





たまき水辺の楽校の利用状況

- ●玉城町昼田地区の河川敷に、水辺の楽校を整備し令和元年5月に開校した。
- ●水遊びができるせせらぎ水路やキャンプやイベント等ができる広い高水敷の広場が整備され、水遊びや散策・キャンプ等を中心に休日にはのべ200人を超える利用がされている。
- ●高水敷への車両通行できる対応及び手洗い用の井戸を設置したことや、コロナ禍でも密になりにくい開放空間として利用ニーズが高まり、YouTubeでキャンプイベント開催動画も掲載されている。

水辺の憩いの場としての利用 高水敷の利用 (オートキャンプ) せせらぎ水路の利用 園路の利用(自転車利用) (R3, 5, 23) (R3, 5, 23) (R3. 5. 23) 30.0 20.0 450 (休日) (平日) 400 350 ■ キャンプ 300 300 ■水遊び 250 250 200 ■水上スポーツ 150 150 ■スポーツ 100 利用者数の推移(上段:調査時の気象条件(気温、降水量)、下段:利用者数) ※キャンプはR3.7までは散策に含む

イベントの場としての利用





天体観測(玉城町教育委員会主催) (R2.8.22)





水生生物調査の実施 (R元. 6. 12:玉城町立下外城田小学校)

クリーン大作戦 (R2.10.25)

<u>せせらぎ水路で確認された魚類</u>



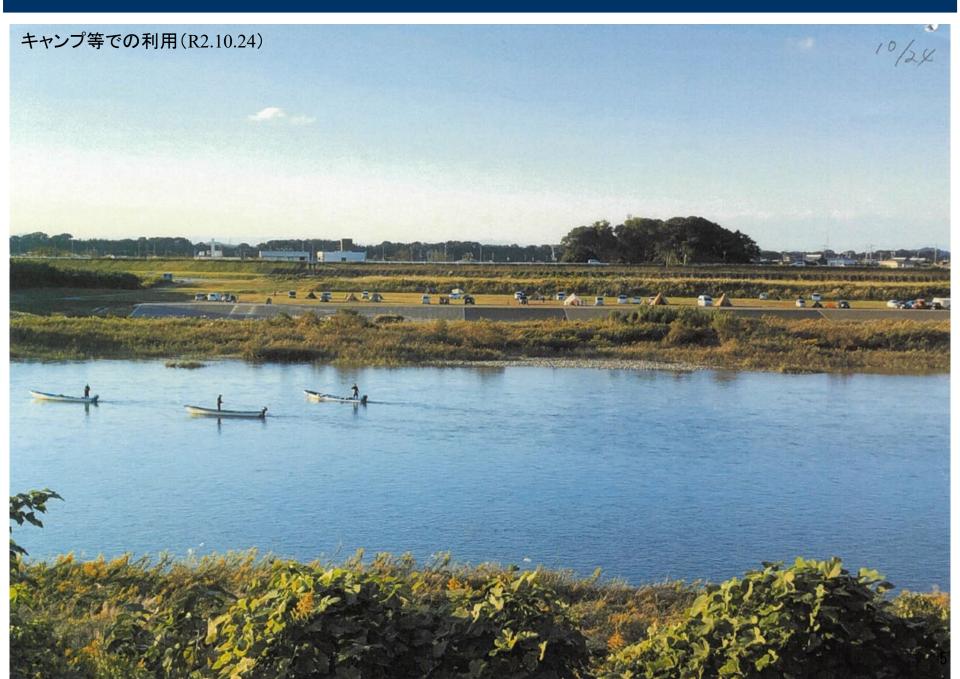


ミナミメダカ (環境省VU、三重県NT)

ドジョウ(環境省NT)

VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧

たまき水辺の楽校の利用状況



たまき水辺の楽校の利用状況



たまき水辺の楽校に対する要望(住民アンケート結果)

- ●宮川・勢田川を利用している沿川住民や宮川・勢田川への来訪者を対象として、たまき水辺の楽校の利用に対する満足度や、課題・ニーズを把握するため、WEBアンケート調査を実施した。
- ●今後やってみたいことでは、「散策・ランニング」や「水遊び」、「自然観察」といった意見が多く、そのためには「安全に遊べる」「きれいな水に触れられる」「ゆったりとくつろげる」場であってほしいという要望が比較的多く挙げられた。

<アンケート実施要領>

- ·実施日:R2.7.3(金)~7.6(月)
- •回収数:300票

宮川右岸の伊勢市在住者 100票

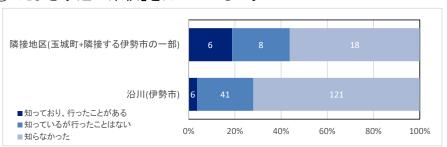
宮川左岸の伊勢市及び玉城町在住者 100票

(伊勢市68票、玉城町及び隣接地区32票)

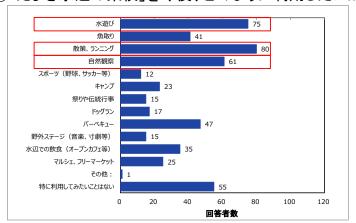
伊勢市・玉城町以外の三重県及び愛知県在住者

で宮川勢田川への来訪経験者 100票

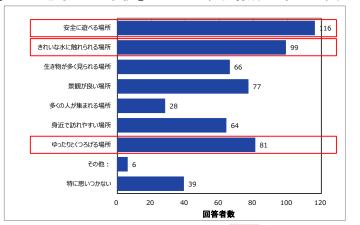
①「たまき水辺の楽校」を知っているか。



隣接地区(玉城町+隣接する伊勢市の一部)では、20%程度が知っており、 行ったことがあるとの回答であったが、その他の伊勢市ではその比率は数% 程度であり、隣接地区以外では認知度が低い。 ②「たまき水辺の楽校」を今後、どのように利用したいか。



③「たまき水辺の楽校」がどのような場所であれば良いか。



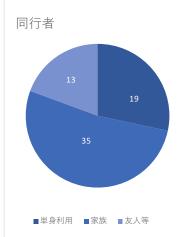
たまき水辺の楽校に対する要望(利用者アンケート結果)

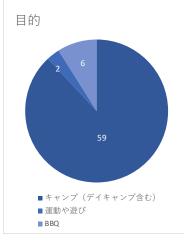
- ●たまき水辺の楽校来訪者に対して、QRコードを現地に設置してアンケート調査を実施した。
- ●利用者は、近隣市町や県内、県外からの来訪者も多く、家族での利用が最も多い。
- ●利用目的としては、キャンプが9割近くを占めている。
- ●利用頻度は、初めてよりも何回もリピートして利用する人が多い。
- ●キャンプやバーベキューが有料となっても、料金設定によっては利用したいという回答が半数以上を占めており、有料化しても多くの利用が見込めることが伺える。

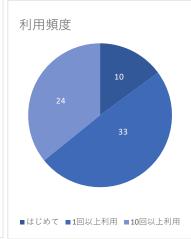
<アンケート実施要領>

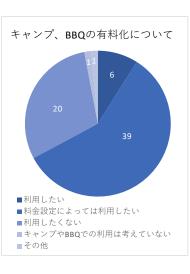
- ・実施日: R4.4.27~5.23(現地にアンケート回答用のQRコードを設置
- •回収数:67票











〇水辺の楽校でやりたいこと

- ・キャンプ
- ・バーベキュー
- ・自然体験(川遊び、天体 観測、虫取りなど)
- 地域の学校、幼稚園での 活用

○要望・意見

- ・常設トイレ・水場の設置
- トイレが汚く使えない時があるのでキレイにして ほしい
- ベンチの修繕
- ・宮川に行けるよう整備してほしい
- フリーマーケットの開催
- 予約制はしないでほしい
- ・全面芝生にしてほしい
- ・子供が水遊びをするので、手動式の地下水のくみ上げポンプ周辺での洗い物は禁止にした方がよい

- ・有料にした場合
- ▶除草やトイレ等の管理費用に当ててはどうか
- ▶トイレ、シャワー、水場の環境整備を希望、車が通れないスペースの区画
- >整備と子供用遊具や広場
- ▶入口ゲート式の受付システム、もしくはアプリ申告型だと利用しやすい
- ▶キャンプ場としての区画整理
- ▶殺風景過ぎるので木を植えたり、ベンチ、テーブルなどはど うか
- ▶防犯カメラの設置

たまき水辺の楽校の管理

●たまき水辺の楽校の管理

・トイレ清掃、場内確認:週2回、2時間/回

• 河川増水時トイレ撤去: (昨年) 2回

・施設内除草:年4回→外部委託にて実施

・水辺の楽校設置トイレ(常時3基、繁忙期5基)



・水辺の楽校除草作業



●課題

・施設利用料等は徴収しておらず、維持管理費用が負担となっている。

たまきかわまちづくり(仮称) 目指す姿

●玉城町の強み

- 伊勢参宮の宿場町、熊野古道の街道起点や田丸 城跡を中心とした歴史文化に溢れる町
- 宮川の清流を活用した水辺の楽校でのキャンプ 利用
- 「玉城豚」やキウイといった特産品の存在
- アスピア玉城、玉城ふれあい農園といった観光 スポットの存在

●解決すべき課題

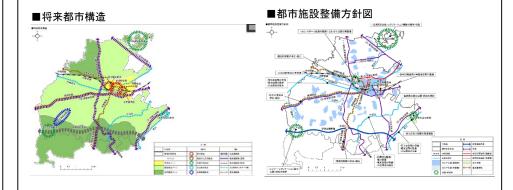
魅力のある地域資源があるものの、H26をピークに観光入れ込み客数が減少傾向である。



- ・魅力ある資源を十分に 生かしきれていないことから、地域資源を活用した観光・交流機能の強化が必要である。
- 人口減少が進行していることから、まちの活力 を高め、持続的に発展できるまちづくりが必要 である。

●関連計画での位置づけ

- ★「第6次玉城町総合計画(R3.3)」におけるまちづく りの目標
 - 人と文化が育ち、愛着が感じられるまち
 - ・まちの活力を高め、持続的に発展できるまち
- ★第一次玉城町観光振興計画(R2.11)
 - 計画の目標 観光レクリエーション入れ込み客数 2025年に280,000人(2019年265,901人)
 - 新たな観光資源の発掘と魅力向上 水辺の楽校の活用に努めていく
- ★玉城町都市計画マスタープラン(R4.3)
 - ・水辺の楽校 水と緑の拠点として、自然融合型の 公園・緑地を整備



●かわまちづくりにより目指す未来の姿

- 新たな観光資源としての魅力アップによる観光交流人口の拡大
- 様々な活用メニューを通じた世代間交流と活力向上による町への愛着の拡大(定住人口の維持)







